FUJILLOY
富士ダイス株式会社

東証プライム（6167）

2027年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2026年11月26日

人と素材と技術の力で「感動体験」を。



EXECUTIVE SUMMARY

	概要	ポイント
2027年3月期 上期業績	●**売上高　：11,328百万円** （前期比**+34.6%**） ●**営業利益：　1,776百万円** （前期比**+451.1%**） **売上・各段階利益ともに前期比で増加**	• 売上高は、原材料高騰を受けて価格改定を行った結果、前期比で増加 • 営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることにより上期の製造原価への影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加
2027年3月期 業績予想 （11/13修正開示）	●**売上高　：24,600百万円** （前期比**+41.0%**、前回予想比**+0.8%**） ●**営業利益：　2,380百万円** (前期比**+189.3%**、前回予想比**+183.3%**)	• 上期の進捗を踏まえ、8/7に開示した「中期経営計画2026」の最終年度である2027年3月期の計画値を修正 • 売上高は、受注制限の調整等により販売数量の減少が前回想定並みを見込む一方、海外市場での販売数量が想定を上回ることに加え、遅れていた国内の価格改定の反映が見込まれることから、上方修正 • 営業利益は、売上高の増加に加え、総平均法により第２四半期の製造原価が想定以上に抑制されたことから、上方修正

経営環境

■ １Qに引き続き、中国政府による重要鉱物の輸出管理強化により、原料調達の見通しが不透明な状況が継続。
■ タングステン価格の指標となる中間原料のパラタングステン酸アンモニウム（APT）価格は、中国政府による輸出管理強化前の10キロ当たり300ドルから、今年4月には3,000ドルへと10倍に高騰、需給ひっ迫を背景に高止まりしている。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOPICS①

タングステン・コバルトを9割削減した【サステロイ STN30】の開発が第42回 素形材産業技術賞において「経済産業大臣賞」日本機械工具工業会賞において「技術功績賞」をダブル受賞

●一般財団法人素形材センター主催「第42回 素形材産業技術賞」において最高栄誉の「経済産業大臣賞」を受賞



●日本機械工具工業会主催「2026年度日本機械工具工業会賞」において「技術功績賞」を受賞



- ■ 一般的な超硬合金と比較してタングステンやコバルトの使用量を９割削減しながら、同等の被加工性・耐摩耗性を実現した新材料
- ■ 耐摩耗性と強度に課題があり、国内の工具用途への採用実績がなかったニオブ基材料において、超硬合金に匹敵する耐摩耗性と加工性を両立する材料の開発に成功し、国内で初めて製品化を実現した点が評価される

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOPICS②

世界最大級の工作機械見本市「JIMTOF2026（第33回日本国際工作機械見本市）」に出展

- 【サステロイ】のラインアップ材など初公開となる新製品を発表
- 「超硬合金の代替材料や省資源に向けた製品開発」に関するワークショップも実施



当社ブース


ワークショップ

- ■ 【サステロイ】への注目拡大により、テレビ・新聞など多数のメディアが取材
- ■ ワークショップへの申込みが定員を上回るなど、高い関心を獲得

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

AGENDA

1. 2027年3月期第2四半期 業績概要 P.05

2. タングステン問題を成長機会へ転換 P.12

3. 重点施策の進捗 P.17

4. 2027年3月期 業績予想 P.24

5. APPENDIX P.30

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

01

2027年3月期第2四半期 業績概要

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 連結業績総括

連結売上高　11,328百万円（前期比+34.6%）

連結営業利益　1,776百万円（前期比+451.1%）

- **売上高は、原材料高騰に伴う価格転嫁が進んだ結果、前期比で増加**
- **営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることから上期の製造原価への原材料費高騰の影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加**

売上高	増加要因	■ 高圧機器関連、熱間圧延ロール、電池関連金型、マグネット関連金型、超硬素材における原材料高騰分の販売価格への反映 ■ 引抜鋼管、混錬工具等の販売が好調
	減少要因	■ 原材料調達見通しの不透明化に伴う受注調整等による販売数量の減少
利益	増加要因	■ 売上高の増加 ■ 総平均法による原材料高騰の上期製造原価への反映遅れ ■ 外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少
	減少要因	■ 原材料価格の高騰

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 連結業績サマリー

- 売上・各段階利益ともに前期比で増加
- メインの超硬合金製工具・金型は現時点では、一部受注量を調整しているものの、全体としてはおおむね計画通り生産・出荷を実施
- 銅タングステン合金の受注を一時的に見合わせ

（単位：百万円）	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	前期比増減率	2027年3月期 上期予想※1	上期予想比	2027年3月期 業績予想※2	業績予想 進捗率
売上高	8,417	**11,328**	34.6%	11,200	1.1%	24,600	46.1%
営業利益	322	**1,776**	451.1%	930	91.0%	2,380	74.6%
（営業利益率）	(3.8%)	(15.7%)	(309.5%)	(8.3%)	(88.8%)	(9.7%)	
経常利益	306	**1,812**	491.4%	960	88.8%	2,440	74.3%
（経常利益率）	(3.6%)	(16.0%)	(339.4%)	(8.6%)	(86.7%)	(9.9%)	
親会社株主に帰属する中間/当期純利益	196	**1,271**	546.6%	670	89.7%	1,640	77.5%
中間/当期純利益率	(2.3%)	(11.2%)	(380.5%)	(6.0%)	(87.6%)	(6.7%)	
1株当たり中間/当期純利益	9.88円	**64.90円**	556.9%	34.22円	89.7%	83.73円	-
自己資本比率	79.6% (2026年3月期末)	**74.1%**	-				

※1　2026年8月7日修正開示　※2　2026年11月13日修正開示

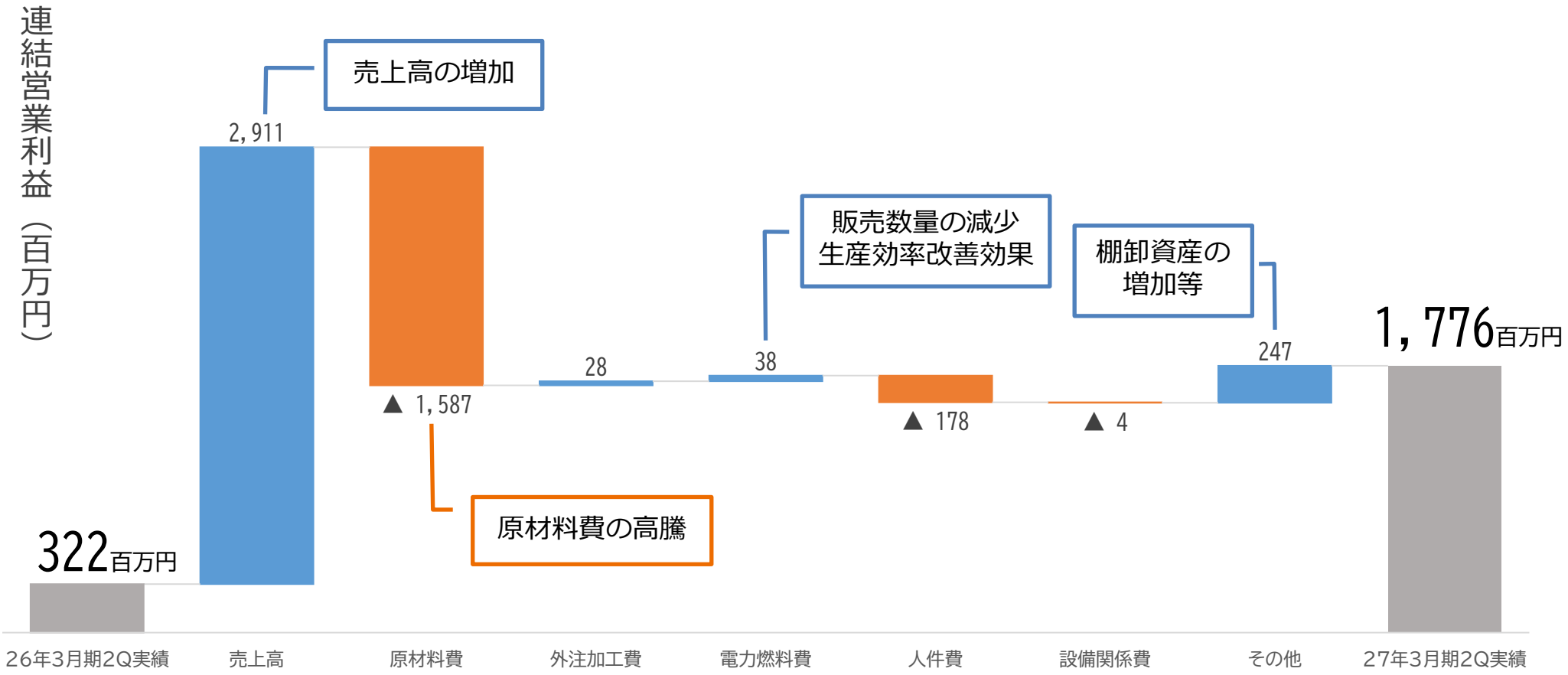
（百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 連結営業利益 増減要因（前期比）

営業利益

営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることから原材料費高騰の上期の製造原価への影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加



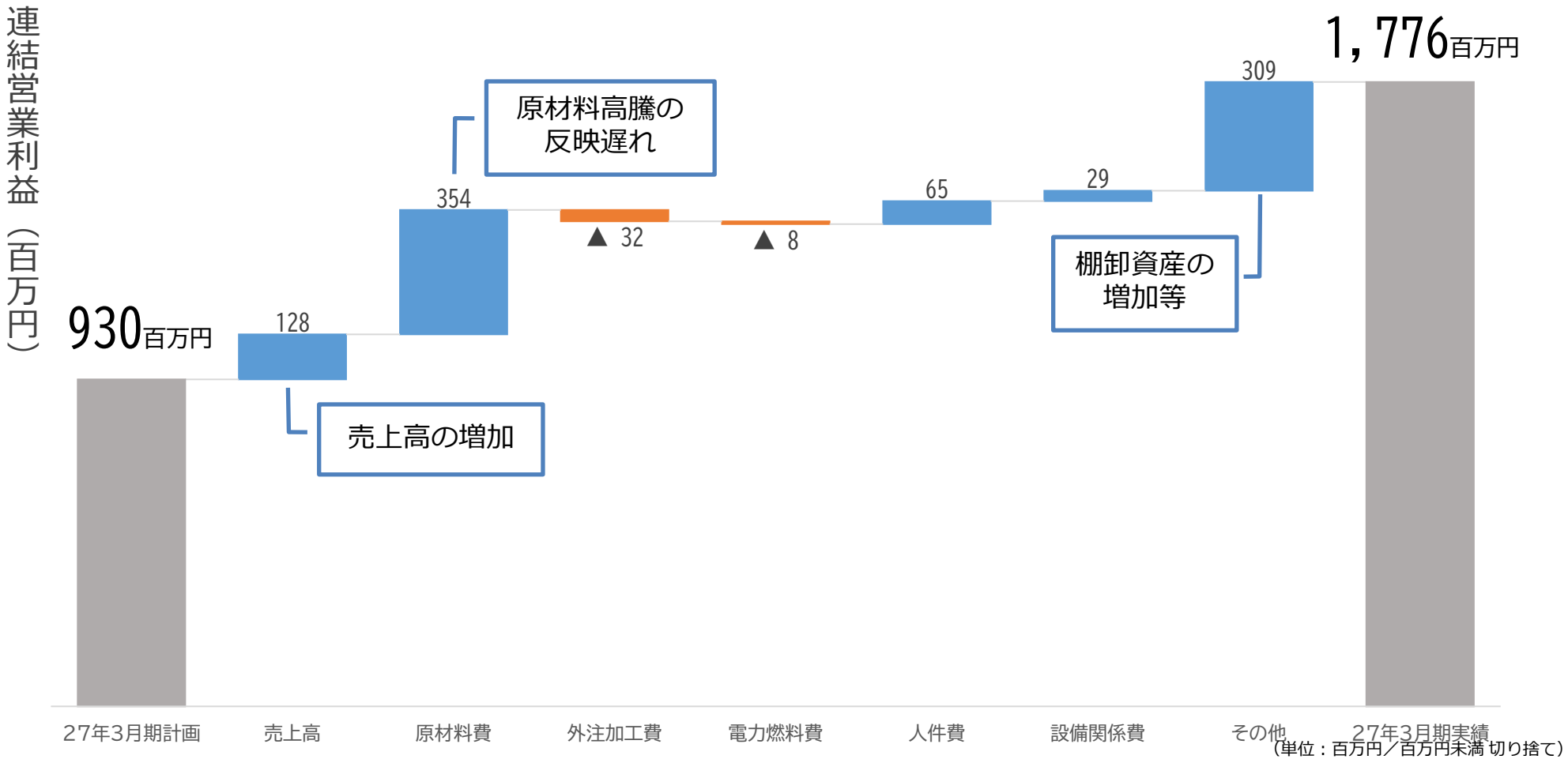
（単位：百万円／百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 連結営業利益 増減要因（予想比）

営業利益

原価計算に総平均法を採用していることから原材料費高騰の上期の製造原価への影響が想定より緩やかだったことや、修繕費等の費用減少により、上期予想比で増加



（単位：百万円／百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 財務の状況 連結貸借対照表 増減分析

- 原材料価格高騰に伴う支出の増加により、現金及び預金が2,393百万円減少し、原材料及び貯蔵品が2,244百万円、仕掛品が1,479百万円増加したことにより、流動資産は2,956百万円増加
- 投資有価証券が109百万円増加したものの、建物及び構築物（純額）が165百万円、機械装置及び運搬具（純額）が88百万円減少したことにより、固定資産は235百万円減少

財務状況

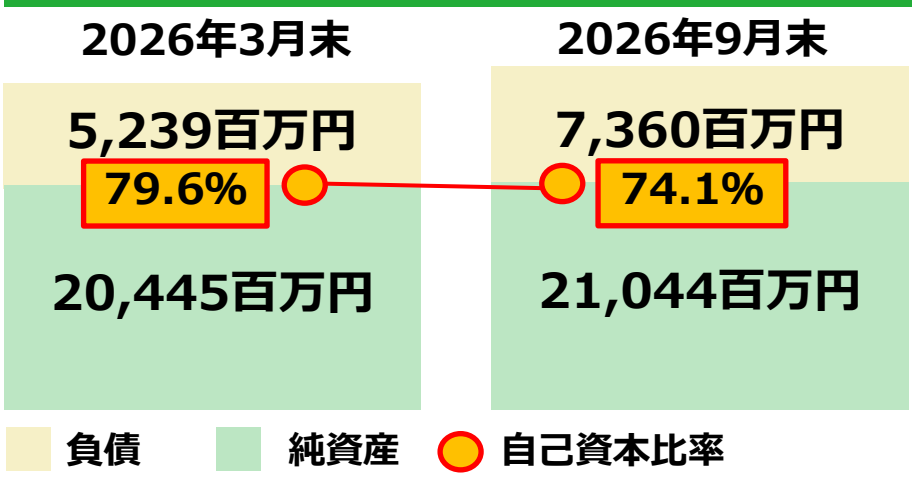
2026年9月末　※（　）は2026年3月末との差

資産	負債 7,360百万円 (2,120百万円)
28,404百万円 (2,720百万円)	純資産 21,044百万円 (599百万円)

単位：百万円	2026年3月末	2026年9月末
流動資産	15,070	18,026
固定資産	10,613	10,377
資産合計	25,684	28,404
流動負債	3,885	5,995
固定負債	1,353	1,364
負債合計	5,239	7,360
純資産合計	20,445	21,044

（百万円未満 切り捨て、自己資本比率は小数点第２位を四捨五入）

負債・純資産・自己資本比率



現金及び預金	4,736百万円
仕掛品	3,377百万円
原材料及び貯蔵品	4,090百万円
建物及び構築物（純額）	4,265百万円
支払手形及び買掛金	1,584百万円
電子記録債務	2,213百万円
短期借入金	-百万円
長期借入金	-百万円
利益剰余金	19,951百万円
その他包括利益累計額	1,233百万円

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期上期 キャッシュ・フロー計算書

営業CF：	税金等調整前中間純利益	1,812百万円
	減価償却費	531百万円
	売上債権の増減額（△は増加）	△975百万円
	棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,887百万円
	仕入債務の増減額（△は減少）	1,681百万円
投資CF：	有形固定資産の取得による支出	△332百万円
財務CF：	配当金の支払額	△778百万円

（単位：百万円）	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	増減
営業活動によるCF	712	△1,173	△1,886
投資活動によるCF	△44	△431	△387
フリーCF	668	△1,604	△2,273
財務活動によるCF	△914	△808	105

（百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

02

タングステン問題を成長機会へ転換

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社を取り巻く経営環境への対応

超硬合金の主原料となるタングステンの世界的供給不足や価格の変動、中東情勢の緊迫化など不確実性が高まる経営環境に対応すべく、材料利用の効率化やリサイクル、代替材料の研究、調達先の多様化および価格改定を着実かつ迅速に推進

外部環境の不確実性		対応方針		具体的な取り組み	
タングステンの世界的供給不足		不確実性が高まる経営環境に対応		材料利用の効率化	リサイクル
タングステン価格の変動	経営環境への影響		変化に対応	代替原材料の研究	調達先の多様化
中東情勢の緊迫化				価格改定	

経営環境

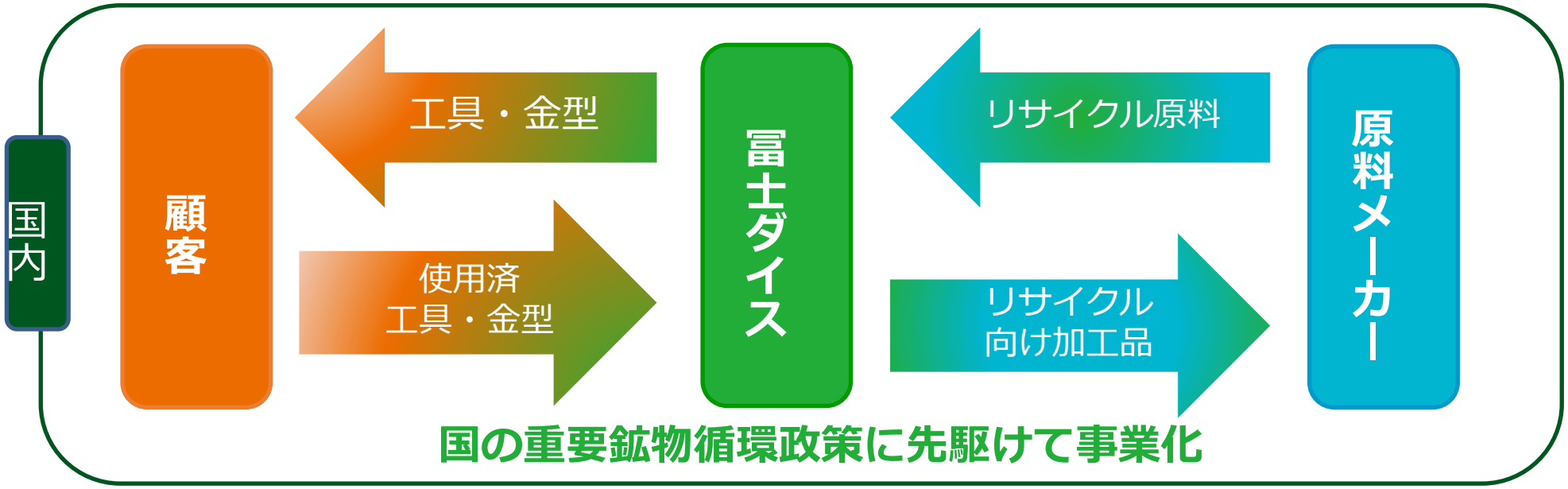
- １Qに引き続き、中国政府による重要鉱物の輸出管理強化により、原料調達の見通しが不透明な状況が継続。
- タングステン価格の指標となる中間原料のパラタングステン酸アンモニウム（APT）価格は、中国政府による輸出管理強化前の10キロ当たり300ドルから、今年4月には3,000ドルへと10倍に高騰、需給ひっ迫を背景に高止まりしている。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

タングステン問題を成長機会へ転換　①超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル

富士ダイスの先行取り組み×政策追い風

- 昨年10月より、超硬スクラップの回収・リサイクル事業を開始
- 6月、経済産業省が超硬工具スクラップのリサイクル促進方針を公表、重要鉱物の国内循環による資源の有効活用を推進
- 6月、日本機械工具工業会が制定した「リサイクル窓口事業者リスト」の対象事業者に選定



工具・金型の循環型リサイクルイメージ

2027年３月期 下期取り組み

- ■ 原料調達リスクの低減と環境負荷の軽減に貢献
- ■ 使用原料の10%程度をリサイクル原料で賄うことを目指す

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

タングステン問題を成長機会へ転換
②省タングステン合金【サステロイ】のラインアップを拡充

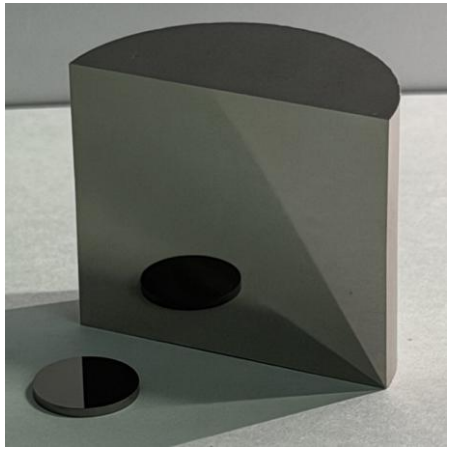
超硬合金の代替材料に対する多様なニーズに対応

【サステロイ STN30】よりも高強度・高靭性グレードを開発（脱タングステン）

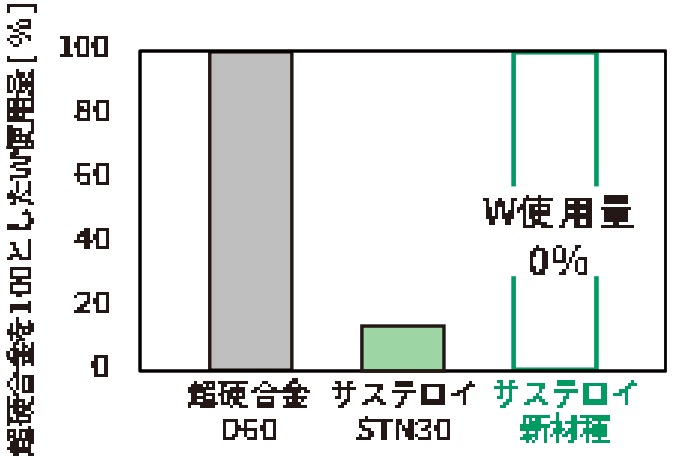
- 昨年10月に販売を開始した【サステロイ STN30】が、中国政府による重要鉱物の輸出管理強化を背景に、超硬合金の代替材料としての注目を集め、代替材としての試作依頼が急増
- このニーズを受け、欠けにくさを重視した【サステロイ】シリーズの新材種、タングステンを使用しない高強度・高靭性グレードを開発

市場投入フェーズ

開発開始 → 販売開始 → 開発完了



タングステン（W）を使用していないため、調達リスクを低減



2027年３月期 下期取り組み

- ■ 客先評価を進め、来年4月発売開始を目指す
- ■ 【サステロイ】のラインアップを拡充し、新たな市場を開拓

FUJILLOY © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

タングステン問題を成長機会へ転換　③ダイジェット工業との業務提携

DIJET × FUJILLOY 補完関係によるシナジー創出

ダイジェット工業株式会社と重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関する業務提携に基づく第２弾施策開始（10/26開示）

- 6月にタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関して、ダイジェット工業と業務提携
- 第１弾として、ダイジェット工業の【サーメタル】を当社が販売
- 第２弾として、当社の【サステロイ】をダイジェット工業が販売、両社の販売ネットワークを活用し販路拡大

【サーメタル】
タングステンとコバルトを使用しない合金

使用用途：
絞り型・粉末成形金型
耐熱用治具

×

【サステロイ STN30】
タングステンとコバルトの使用量を90%削減した合金

使用用途：
回転工具・混錬工具

→



「JIMTOF2026」にて初のコラボ企画「クイズ&スタンプラリー」を実施

2027年３月期 下期取り組み

■ **技術力と販売網を活かした市場開拓を推進、事業拡大と企業価値向上を目指す**

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

03

重点施策の進捗

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画2026（2025年3月期-2027年3月期）：重要施策

変化に対応できる企業体質への転換

①経営基盤の強化

サステナビリティ経営とDX化を軸に組織力を高め、経営判断を迅速化

②生産性向上・業務効率化

各部門における自動化・省力化、DX化等による業務効率化を推進

③海外事業の飛躍

海外子会社と日本からの直接輸出の両輪で海外売上拡大を図る
アジア地域でのシェア拡大に加え、北米/インドにおける市場開拓を促進

④脱炭素・循環型社会への貢献

脱炭素・循環型社会の形成に貢献する製品を積極的に開発・市場投入

⑤新規事業の確立

100年企業を目指し、新規事業の専門組織を立ち上げ、
新事業シーズの事業化を加速

既存事業領域	新規事業領域

利益率向上 ⇔ 売上拡大

国内事業は成長の基盤（安定的に成長）、成長を牽引するのは海外事業
将来の成長基盤の育成として新事業の実現という方向性

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

重要施策の進捗【生産性向上・業務効率化】

2027年３月期 上期進捗

【自動化】2026年3月期に着手した各生産拠点の自動化設備がすべて稼働を開始
稼働率は目標の約8割程度に向上

2026年3月期導入　自動化設備	拠点	工程	効果
成形加工機に産業用ロボットを追加	熊本製造所	冶金	省人化
研磨加工作業に自動化ロボットを導入	熊本製造所	製造	省人化
粉末成形プレス機にロボットアームを追加 焼結用カーボンケースへの充填作業を自動化	郡山製造所	冶金	省人化
材料粉末の充填・ハンマリングの自動化装置を導入	郡山製造所	冶金	省人化
自動床洗浄ロボット	岡山・郡山・熊本	製造	間接時間を削減・省人化
研削加工機に産業用ロボットを追加	秦野工場	製造	省人化

2027年3月期上期導入　自動化設備	拠点	工程	効果
成形工程にNC旋盤×ワークチェンジャーロボットを導入（５月）	岡山製造所	冶金	省人化
100tプレスにロボットアームを追加（９月） 材料粉末の充填⇒圧粉成形⇒取り出し整列を自動化	郡山製造所	冶金	省人化

2027年３月期 下期取り組み

【自動化】郡山製造所のダイヤモンド砥石製造工程に自動化ラインを導入（12月）

受注数量の減少を踏まえ、自動化設備の適用製品の拡大、稼働率向上を目指す

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

重要施策の進捗【海外事業の飛躍－インドでの拡販】

2027年３月期上期 進捗

- 成長市場であるインドを重点エリアと定め、2026年4月より、インド現地子会社FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITEDの事業活動を再開
- デリーとベンガルールの現地エージェントと契約し、インド市場での拡販と知名度向上を推進

2027年３月期下期 取り組み

- 10月1日より、社長直轄部門「インド事業開発部」を新設
- 現地メーカーに対して競争優位性のある高品質製品の拡販を図るとともに、現地パートナーの開拓を進め、自前主義からの脱却を目指す。



【今年1月の展示会出展時の当社ブースの様子】

インド最大級の展示会「IMTEX 2027 」（International Machine Tool & Manufacturing Technology Exhibition 2027）に出展予定

会期：2027年1月21日～1月27日

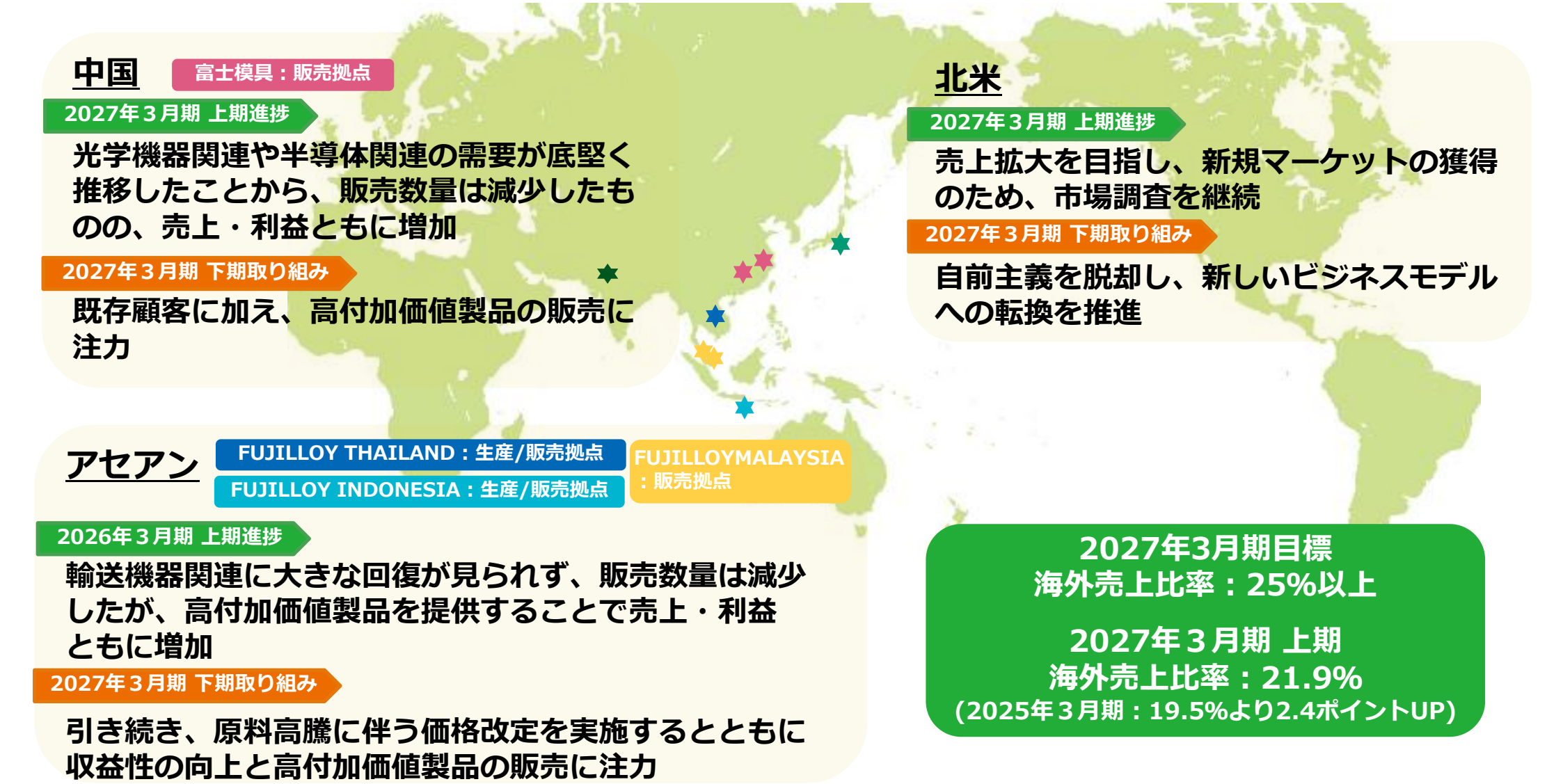
会場：Bangalore International Exhibition Centre


【現地エージェントと現地スタッフ】

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

重要施策の進捗【海外事業の飛躍ー中国・アセアン・北米】

原料高騰に対応した価格改定と収益性の見直しを進めた結果、売上が拡大
新規開拓は慎重に進め、既存顧客への対応を優先



中国

富士模具：販売拠点

2027年３月期 上期進捗

光学機器関連や半導体関連の需要が底堅く推移したことから、販売数量は減少したものの、売上・利益ともに増加

2027年３月期 下期取り組み

既存顧客に加え、高付加価値製品の販売に注力

北米

2027年３月期 上期進捗

売上拡大を目指し、新規マーケットの獲得のため、市場調査を継続

2027年３月期 下期取り組み

自前主義を脱却し、新しいビジネスモデルへの転換を推進

アセアン

FUJILLOY THAILAND：生産/販売拠点

FUJILLOY INDONESIA：生産/販売拠点

FUJILLOYMALAYSIA：販売拠点

2026年３月期 上期進捗

輸送機器関連に大きな回復が見られず、販売数量は減少したが、高付加価値製品を提供することで売上・利益ともに増加

2027年３月期 下期取り組み

引き続き、原料高騰に伴う価格改定を実施するとともに収益性の向上と高付加価値製品の販売に注力

2027年3月期目標
海外売上比率：25%以上

2027年３月期 上期
海外売上比率：21.9%
(2025年３月期：19.5%より2.4ポイントUP)

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

重要施策の進捗【脱炭素・循環型社会への貢献】

2027年３月期上期 進捗

- 脱炭素・循環型社会の形成に貢献する成長分野に向けた製品を開発
- 次世代光通信分野における対応製品を拡大
- 開発中の４製品（下記の表の緑字の製品）を「JIMTOF2026」にて初公開

分　野	概　要	進捗状況	販売時期(計画) 25年3月期 / 26年3月期 / 27年3月期
次世代エネルギー	① 水素発生用触媒・電極(PME)	①客先評価中	
	② 金属空気二次電池用触媒・電極(PME)	②量産化検討中	
次世代光通信	①光通信用コネクター金型	①販売中	
	②MTフェルール向け金型	②客先評価中	
次世代自動車	①高精度ガラス成形用金型素材(TR合金)ラインアップ化	①開発完了	
	② 放電加工対応超硬合金　(VG51)	②販売中	
	③アモルファス合金に適した超硬合金	③客先評価中	
省資源	① 省タングステン・コバルト合金【サステロイSTN30】	①販売中	
	②【サステロイ】新材種（タングステン不使用）	②開発完了	
	③ 形状自由度の高い超硬合金（超硬合金の新製造プロセスの検討）	③開発完了	



2027年３月期下期 取り組み

- 2028年３月期の発売を目指し、開発中４製品の客先評価を進める

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

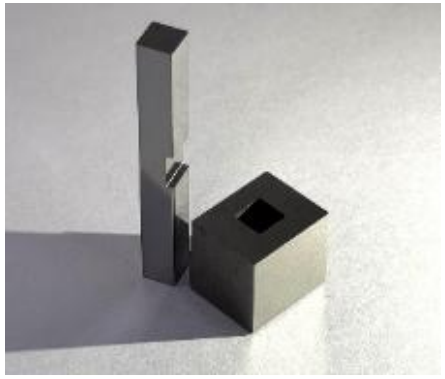
重要施策の進捗【脱炭素・循環型社会への貢献】

「JIMTOF2026」にて初公開した新製品の概要

市場投入フェーズ

開発開始 ―― 販売開始

①③開発完了 ②客先評価中

新製品	①ガラスレンズ成型用金型 新材種	②放電加工後の強度低下を抑制した高硬度超硬合金	③形状自由度の高い超硬合金
			
特徴	■ **複雑な表面形状を持つ光学レンズ成型用金型に活用できる新材種** ■ ガラスレンズの成型温度に近い600℃での熱膨張係数が7.9 MK^{-1}	■ **電磁鋼板より硬いアモルファス合金箔を打ち抜くモーターコア金型に最適な新材種** ■ 高硬度で放電加工後も高強度	■ **従来とは異なる製作手法で、さまざまな形状の超硬合金が製作可能** ■ 薄板形状（厚み0.5mm以下）、肉厚品への下穴加工（φ0.1mm）が可能
分野	**次世代自動車** **高精度ガラス成形用金型素材(TR合金)ラインアップ化**	**次世代自動車** **アモルファス合金に適した超硬合金**	**省資源** **超硬合金の新製造プロセスの検討**

（省タングステン ・コバルト合金ラインアップ化はP15を参照）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

04

2027年3月期 業績予想

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年３月期通期連結業績予想の修正

■ 売上高を上方修正

売上高は、受注制限の調整等により販売数量の減少が前回想定並みを見込む一方、海外市場での販売数量が想定を上回ることに加え、遅れていた国内の価格改定の反映が見込まれることから、上方修正

■ 各段階利益を上方修正

通期の各段階利益は前回発表予想を上回る見込みであるが、タングステン価格高騰の影響が下期にかけて製造原価へ段階的に反映される見込みであることに加え、原材料調達施策の効果については不透明なため業績予想に織り込まず保守的に算定していることから、下期の各段階利益は上期実績を下回る見込み

【業績予想の修正数値】

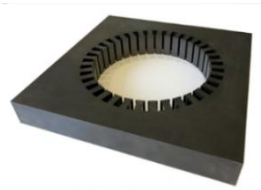
（単位：百万円）	売　上　高	営業利益
前回発表予想(Ａ)	24,400	840
今回発表予想(Ｂ)	24,600	2,380
増減額(Ｂ-Ａ)	200	1,680
増減率	0.8%	183.3%
(ご参考) 前期実績 (2026年３月期)	17,446	822

【2027年3月期上期実績・下期予想数値】

（単位：百万円）	売　上　高	営業利益
2027年3月期上期実績	11,328	1,776
2027年3月期下期予想	13,272	604
2027年３月期通期予想	24,600	2,380

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）2027年３月期 業績見通し

産業分類	2027年3月期上期実績	2027年3月期下期見通し※
輸送用機械  モーターコア用金型 など	モーターコア用の販売が堅調に推移。底堅い自動車生産を背景に、鍛造金型は販売数量・売上共に増加。 実績：15.2億円 （前年同期実績：14.1億円）	新型モデル投入などの開発案件に加え、ハイブリッド車の量産拡大により、上期並みを見込む。
鉄鋼  圧延ロール など	海外向け熱間圧延ロールは数量が減少するものの高重量のため、価格転嫁の進展により売上増。 実績：15.6億円 （前年同期実績：11.6億円）	国内向けは上期並みまたはやや減少、海外向け熱間圧延ロールの受注増を見込む。
非鉄金属・金属製品  製缶工具 など	データセンター向け電線や接点の関連製品は前期に引き続き好調。製缶工具は前期の特需の反動減があったものの、価格転嫁の進展により前期並みを維持。 実績：11.6億円 （前年同期実績：10.7億円）	データセンター向け関連製品は需要増を見込む一方、エアコン関連工具・金型および缶器ともに上期並みまたはやや減少を見込む。

※タングステン価格の変動や価格転嫁の影響など不確定要素が大きいため、 2027年3月期の単体ベース産業分類別売上目標は非公表。
見通しは販売数量ベース。全体として、販売数量は上期並みを見込むが、原材料価格の高騰を受けた価格転嫁により、売上は増加する見込み。

FUJILLOY © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

主要産業分類別状況（単体ベース、売上高）2027年３月期 業績見通し

産業分類	2027年3月期上期実績	2027年3月期下期見通し
生産・業務用機械  光学素子成型用金型 など	半導体製造装置向けは、顧客の在庫過多状態で大幅減。光学関連は堅調。高圧関係は、大型品への価格転嫁の進展により売上増。 実績：12.1億円 （前年同期比実績：9.8億円）	半導体製造装置向けは引き続き低調。光学関連は既存材種からの置き換えや新製品への適用により増加を見込む。高圧関係は微減の見込み。
電機・電子部品  電池向け金型 など	電池は、データセンター向け蓄電池など前期に引き続き好調。磁石も好調を維持。半導体封止材向けはパワー系等ボリュームゾーンが低調で販売数量は減少するも価格転嫁の進展により売上増。 実績：11.5億円 （前年同期比実績：7.4億円）	電池はデータセンター向けの需要増を見込む一方、封止材の回復時期は想定より後ずれする見込み。
金型・工具向け素材 	原料調達難に伴う一時的な受注見合わせにより放電加工用電極材料が大幅減となる一方、超硬素材は価格転嫁の進展により大幅な売上増。 実績：25.9億円 （前年同期比実績：15.6億円）	超硬素材は価格転嫁の影響により減少を見込む。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年３月期　業績見通しサマリー

（単位：百万円）	2026年3月期 実績	2027年3月期 上期実績	2027年３月期 業績予想	期末における 前期比増減	期末における 前期比増減率
売上高	**17,446**	**11,328**	**24,600**	**7,153**	**41.0%**
営業利益	**822**	**1,776**	**2,380**	**1,557**	**189.3%**
（営業利益率）	(4.7%)	(15.7%)	(9.7%)	(5.0%)	
経常利益	**883**	**1,812**	**2,440**	**1,556**	**176.2%**
（経常利益率）	(5.1%)	(16.0%)	(9.9%)	(4.9%)	
親会社株主に帰属する 中間/当期純利益	**573**	**1,271**	**1,640**	**1,066**	**186.0%**
1株当たり 中間/当期純利益	**29.03円**	**64.90円**	**83.73円**	**54.70円**	-
一株当たり配当額	**40.0円**	-	**40.0円**	**0円**	-
DOE	**3.8%**	-	**4.0%**	**0.2%**	-

【2027年3月期　利益予想の前提条件】　（百万円未満 切り捨て）
①APT(パラタングステン酸アンモニウム）価格：3,031ドル/10kg(3Q)、 2,500ドル/10kg(4Q)　②為替：160円/米ドル

※業績見通しはタングステン価格の変動や価格転嫁の影響など、不確定要素が大きく、変動する可能性あり

ダイジェット工業株式会社との業務提携を含めた省タングステン製品の開発・拡販や、原材料の安定調達に向けたリサイクル事業の強化、調達先の多様化等の施策を引き続き推進し、原材料費高騰による影響の抑制に努めるとともに、インド市場やデータセンターなどの成長エリア・分野に向けた拡販を図る

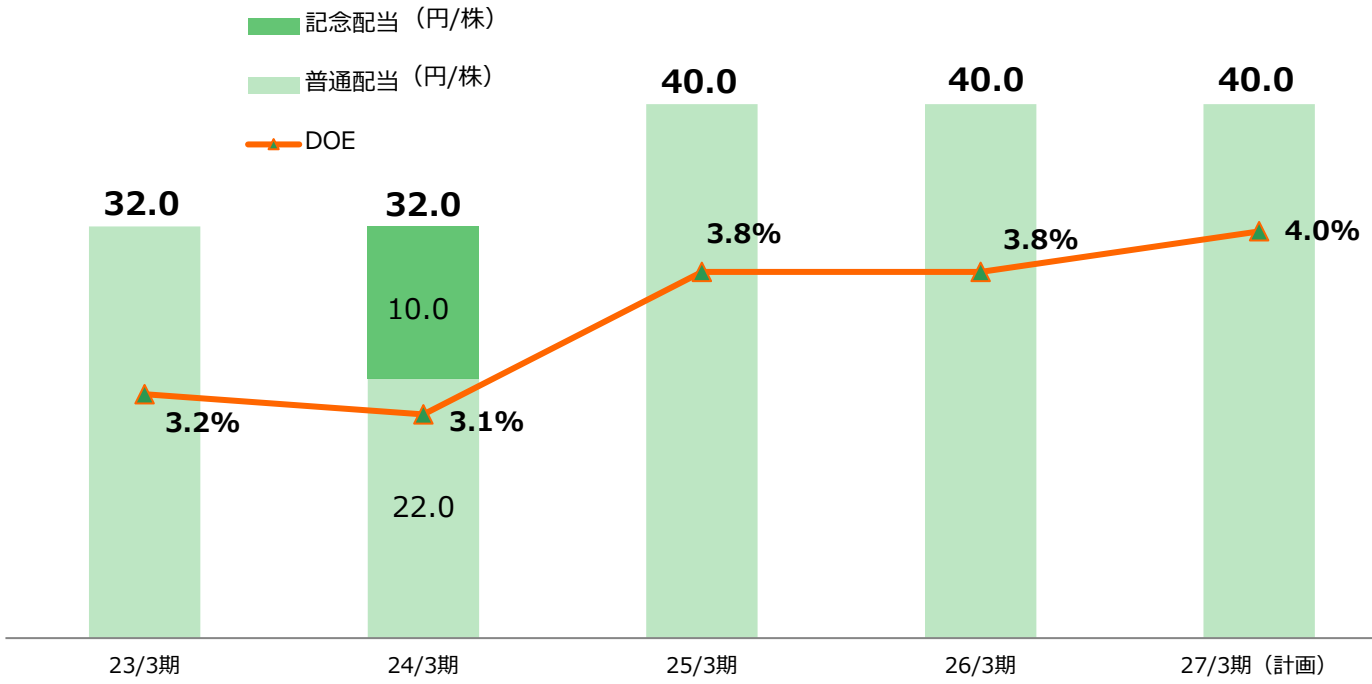
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 株主還元・配当

2027年３月期は1株当たり40円を計画

年間配当金
40円

- **2027年3月期までの中期経営計画期間中は、配当の基準を従来の配当性向から株主資本配当率（DOE）に変更するとともにDOEの目標値を４%目途に変更**
- **2027年３月期の配当は前期の配当と同額の一株当たり40円を計画**



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

05

APPENDIX

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要（2026年11月現在）

商号	冨士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役会長　春田　善和 代表取締役社長　津田　雅宣
創業	1949年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6167 [業種：機械] ） 2015年６月東証二部に上場、2017年４月東証一部に市場変更
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
連結子会社	新和ダイス株式会社 冨士シャフト株式会社 FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD. 富士模具貿易（上海）有限公司 PT. FUJILLOY INDONESIA FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITED FUJILLOY MALAYSIA SDN. BHD.
従業員数	1,078名（2026年3月期末時点、連結）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社の特長

超硬耐摩耗工具市場でトップシェア

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持

多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア
30%以上

長期的成長を担う高い素材開発力×加工技術力

粉末冶金技術を活かし、市場ニーズに応える新材料の開発力

新鋭設備研究と加工方法の最適化による匠の技と最新テクノロジーの融合

コア技術
・粉末冶金技術
・超精密加工技術

開発力-技術力-営業力が競争力の源泉

お客さまの個別ニーズをカスタマイズできる直販体制

幅広い業種との安定かつ多くのお客さまとの取引実績

設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査までの一貫生産体制

取引社数
約3,000社
（グループ連結）

財務基盤：黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持

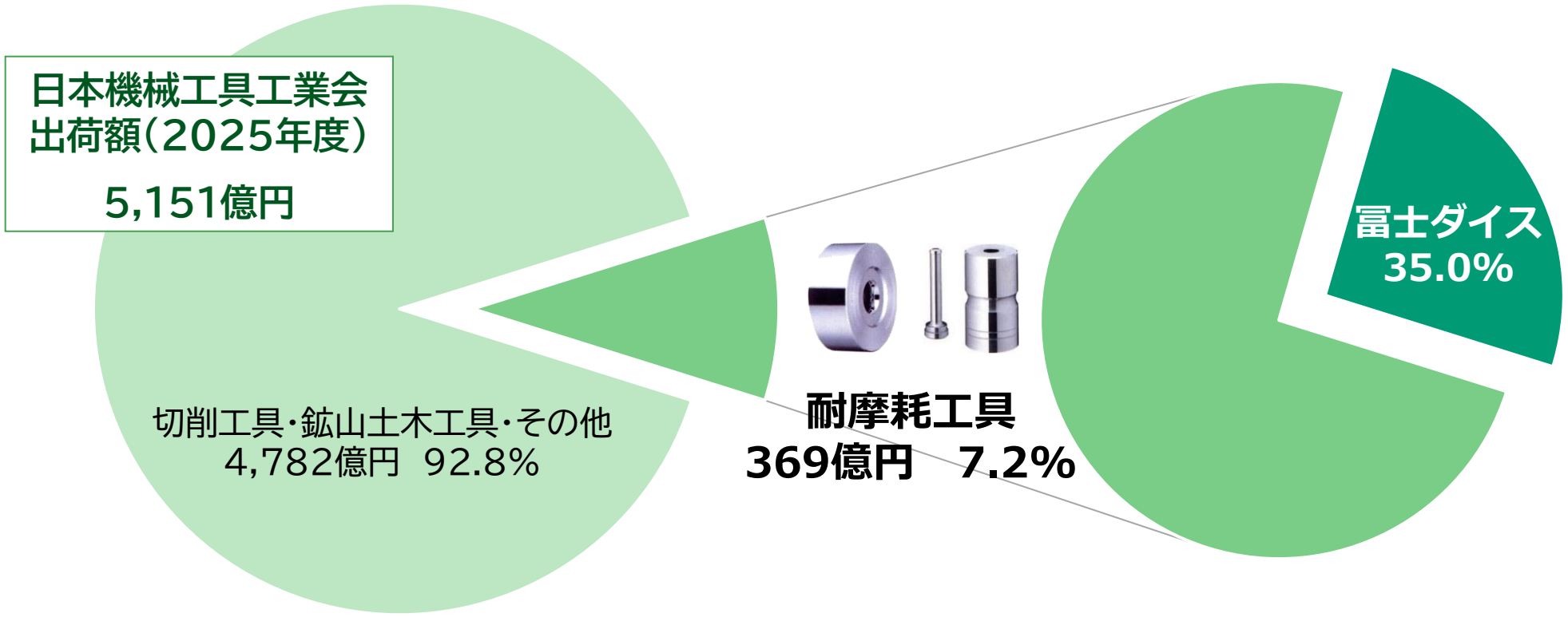
ネットキャッシュ	4,836百万円
フリーキャッシュフロー	668百万円

（2026年9月末・百万円未満 切り捨て）

自己資本比率
74.1%
（2026年9月末時点）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

超硬工具の国内市場規模（日本機械工具工業会調べ）



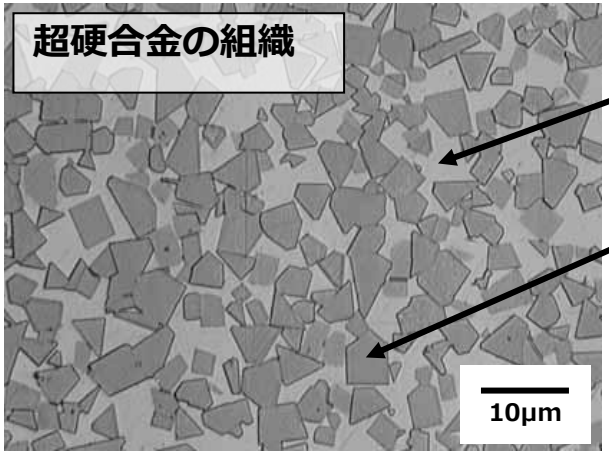
耐摩耗工具において、長年に亘ってトップシェアを堅持

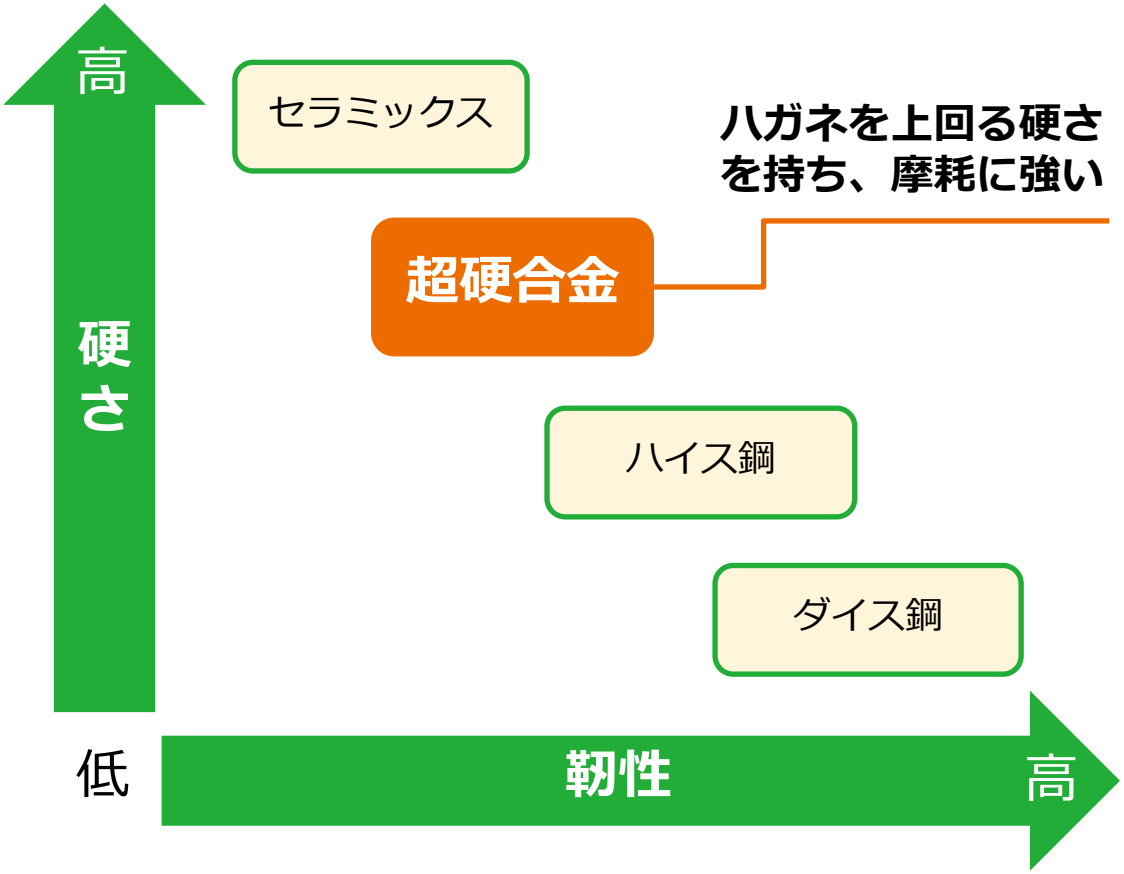
当社の超硬工具の売上　　129億円（117億円/2024年度）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

超硬合金とは

- 炭化タングステンなどの**硬質炭化物**とコバルトなどの**金属**を組み合わせた**金属材料**
- ステンレスや鋼鉄を凌ぐ**硬さ**を誇り、**圧縮強さ**、**耐摩耗性**に優れる
- **変形しにくく**、高い精度が求められる**金型**や**工具の材料**として適している
- 金属の粉末を型に入れ圧縮して成型し、融点より低い温度で長時間焼いて固める
  「粉末冶金法」で製造される



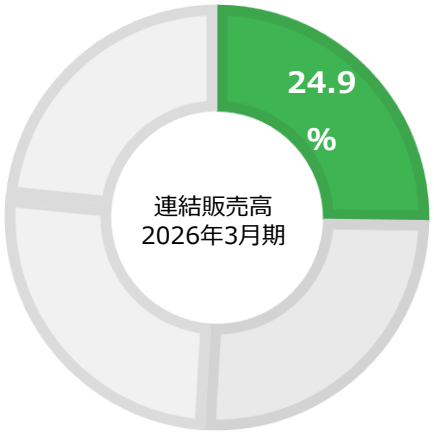


© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業内容　製品区分

■ 超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化

超硬製工具類

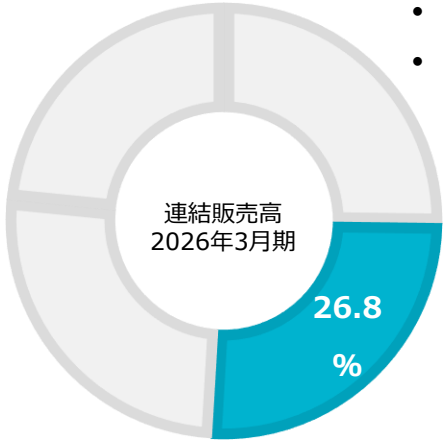


- ダイス、プラグ
- 溝付きプラグ
- 熱間圧延ロール
- 超高圧発生用工具　等





超硬製金型類



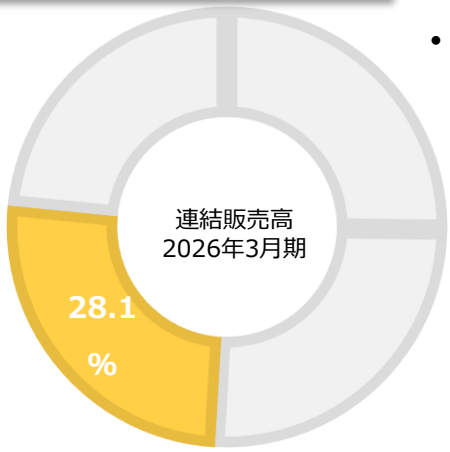
- 自動車部品製造用
- 製缶用
- 電池関連用　等







その他の超硬製品



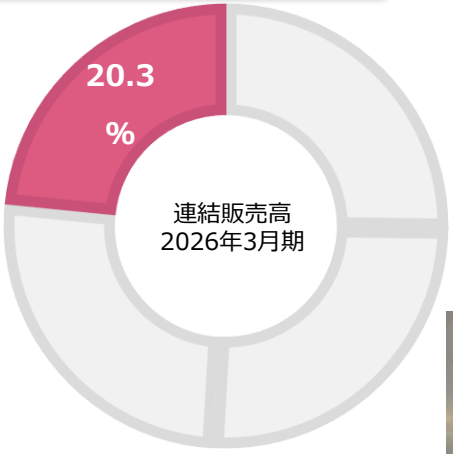
- 超硬合金素材
- 半導体製造装置用部品　等







超硬以外



- 鋼製品
- KF2製品
- セラミックス製品
- ダイヤモンド研削砥石
- FHR製品
- 銅タン
- NFメタル
- 引抜鋼管　等







© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

高い評価を受ける技術力

日本機械工具工業会賞において「技術功績大賞」および「環境特別賞」を受賞



【技術功績大賞】



【環境特別賞】

- 日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業会賞」において、当社の**「高熱膨張ガラス成形金型用新硬質材料の開発」が「技術功績大賞」を受賞**
- さらに、当社の近年の**廃棄物削減、再資源化率の向上の取り組みが評価され、「環境特別賞」を同時に受賞**

2025年超モノづくり部品大賞「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞

超モノづくり部品大賞



【受賞製品】
電気化学反応用　高性能電極(PME)

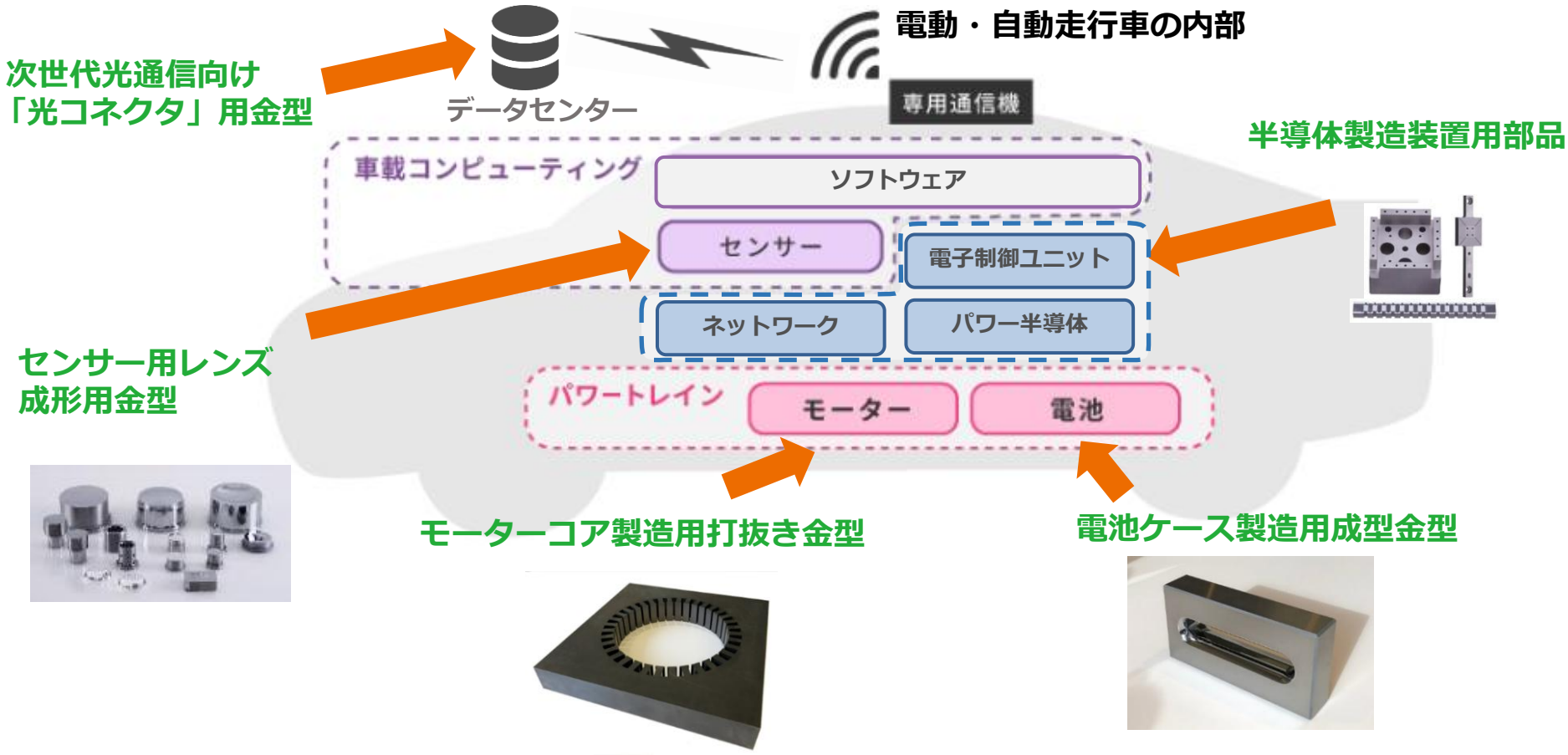
- **水の電気分解により水素を生成する装置などに用いられる電極**
- 水の電気分解による水素製造の際、**必要な消費電力を従来比20%削減**
- 触媒はカルシウム、銅及び鉄の酸化物（**貴金属フリー**）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長分野と富士ダイスの関係

次世代自動車・半導体・光通信

自動運転向けセンサー用光学部品、次世代光通信分野、半導体製造装置分野に、
当社の工具・金型・素材が貢献



電動・自動走行車の内部　図の引用元：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のホームページ

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

ものづくりを支える富士ダイスの製品



上記以外にも、富士ダイスの製品は、鉄道架線・電線などのインフラ設備、
人工ダイヤモンドの製造や新素材の開発など、様々なシーンでものづくりを支えている

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

当社製品





ダイス・プラグ



ロール

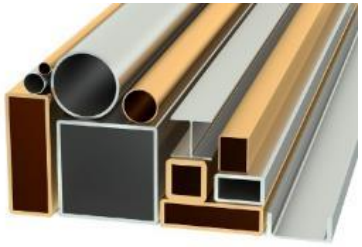
成形部材



パイプ



線材



異形管

最終製品例



エアコンなどの家電



飛行機などの輸送機器



鉄道架線・電線など
インフラ設備

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラ・自動運転用カメラセンサーのレンズを生産する金型

当社製品



製缶工具

最終製品例



飲料缶・一般食缶

当社製品



ガラスレンズ成形用金型

最終製品例



監視カメラ



カメラレンズ



自動運転用カメラセンサー

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具

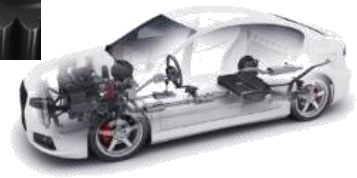
当社製品



鍛造金型

最終製品例





自動車・各種機械用部品

当社製品



高圧工具

最終製品例



人工ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ・
新素材開発

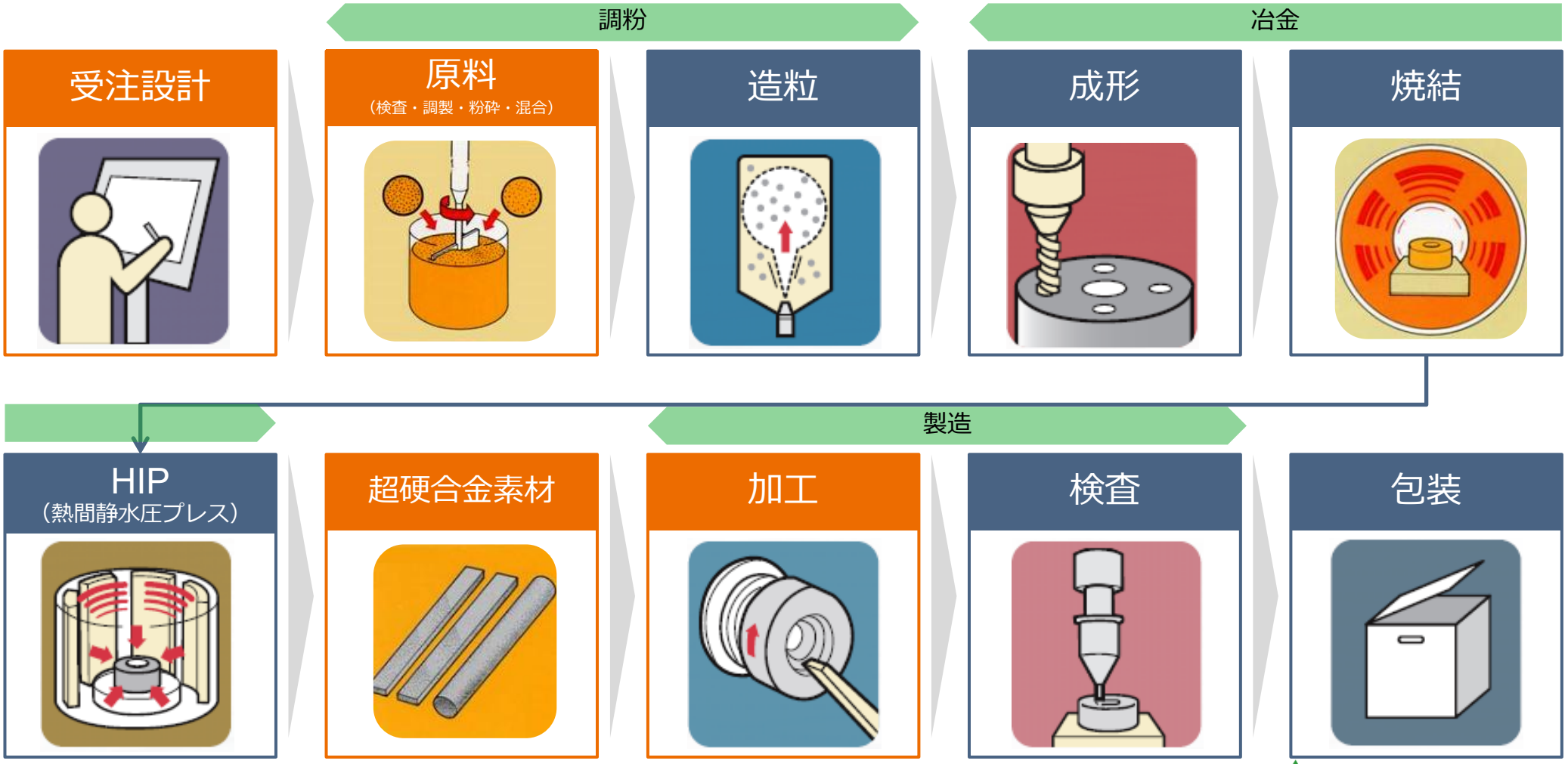


地球物理学研究

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

一貫生産体制により様々なオーダーに対応

- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで**一貫した受注生産体制**
- ２つのコア技術、高度な**粉末冶金技術**と**超精密加工技術**により
  様々なオーダーに対し**柔軟に対応**が可能（多品種・少量生産）

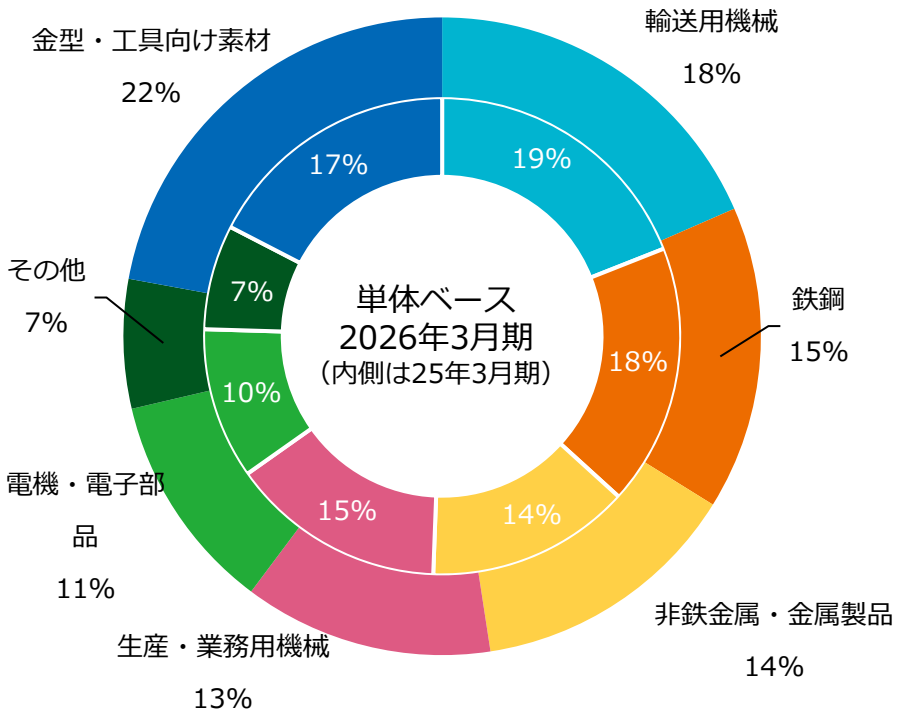


© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

受注生産・直販体制、取引先は約3千社に上る

少量多品種の顧客毎のカスタムメイドの受注生産・直接販売を行う
顧客との強固なネットワークにより、取引社数は約3千社、業種も幅広い
特定の業界動向に影響されない安定性が強み

【顧客産業分類区分売上構成(%)】



【営業・生産拠点（2026年3月末時点）】

【国内】
- ●生産・営業拠点　5ヶ所
- ●生産拠点　2ヶ所
- ●営業拠点　5ヶ所

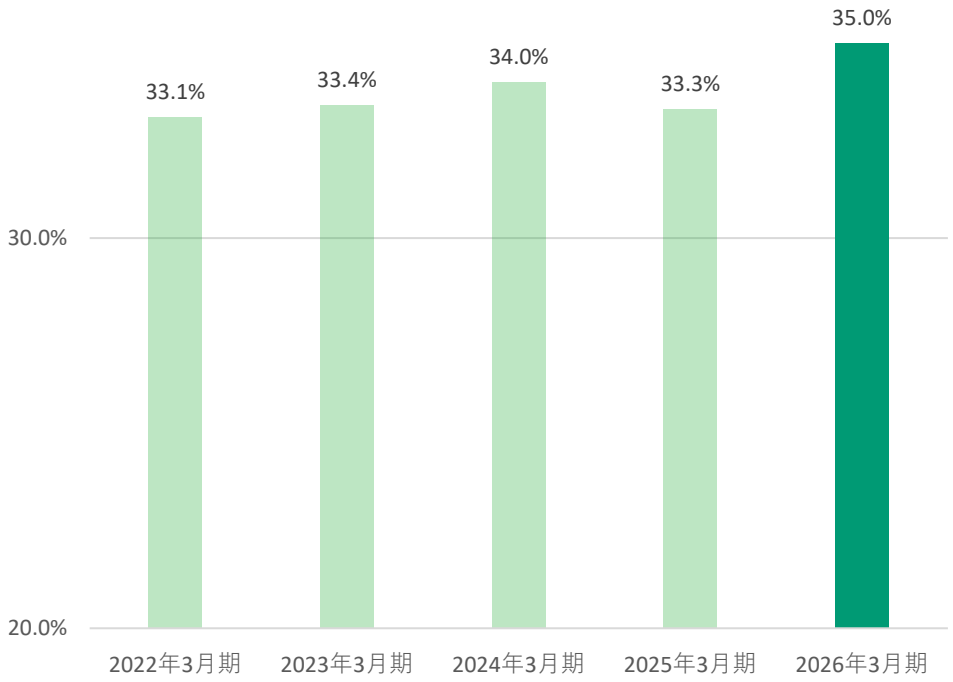
【海外】
- ●生産・営業拠点　2ヶ国
  タイ・インドネシア
- ●営業拠点　3ヶ国
  中国・マレーシア・インド

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

耐摩耗工具専業国内トップメーカー

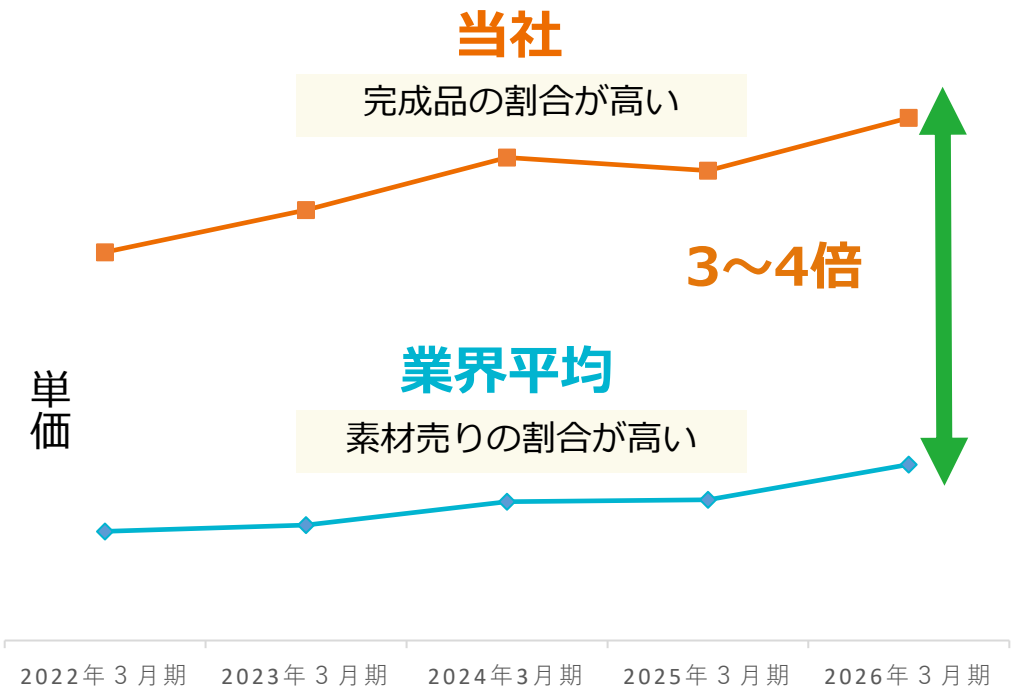
国内超硬耐摩耗工具業界で当社は長期に亘り、トップシェア（30%超）を堅持
少量多品種の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

超硬耐摩耗工具・国内出荷額シェアの推移



※2021年3月期は新型コロナウイルスの影響が大きいため除外

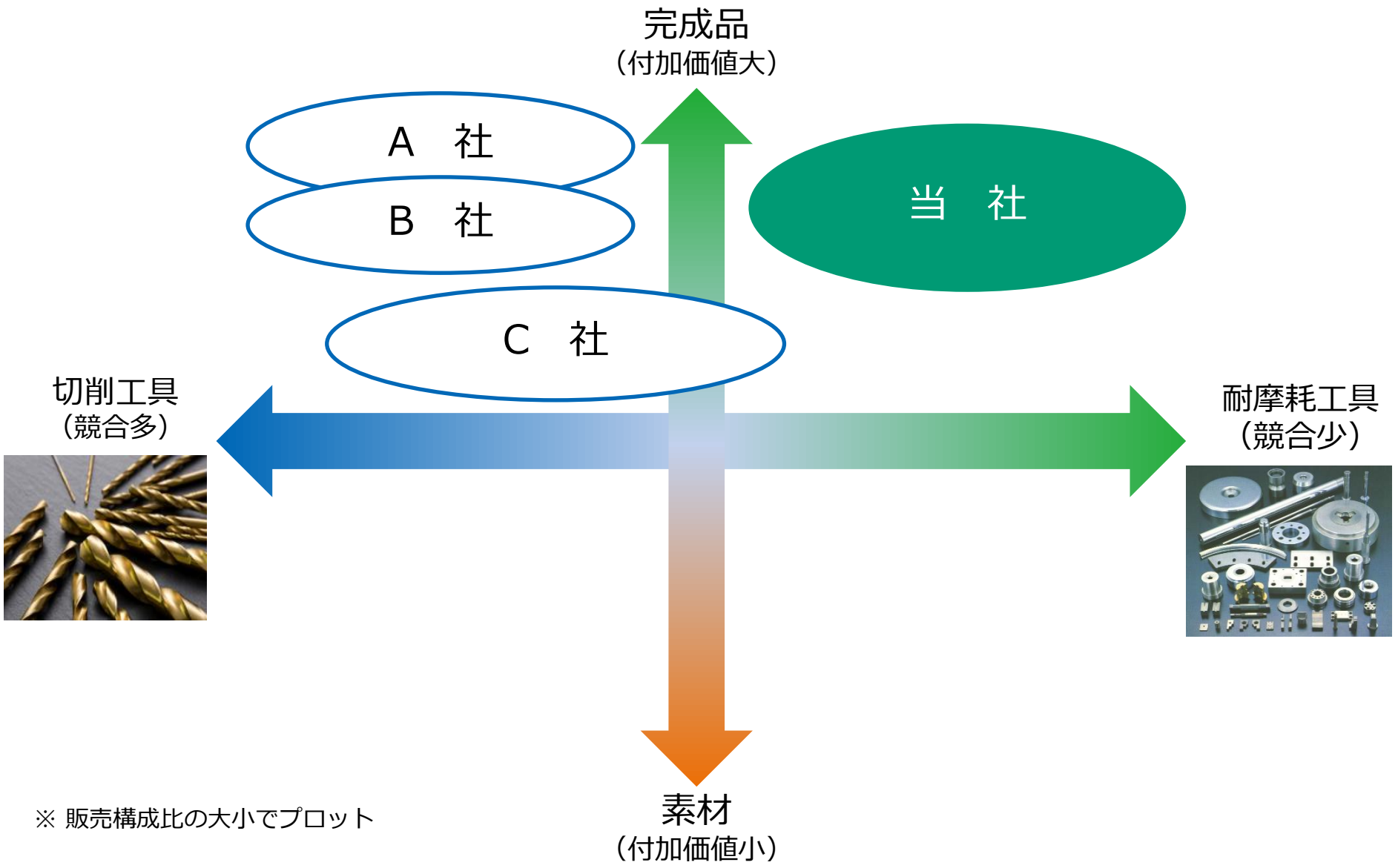
製品の平均単価の推移



出所：日本機械工具工業会

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

工具業界 ポジショニングマップ（上場企業）

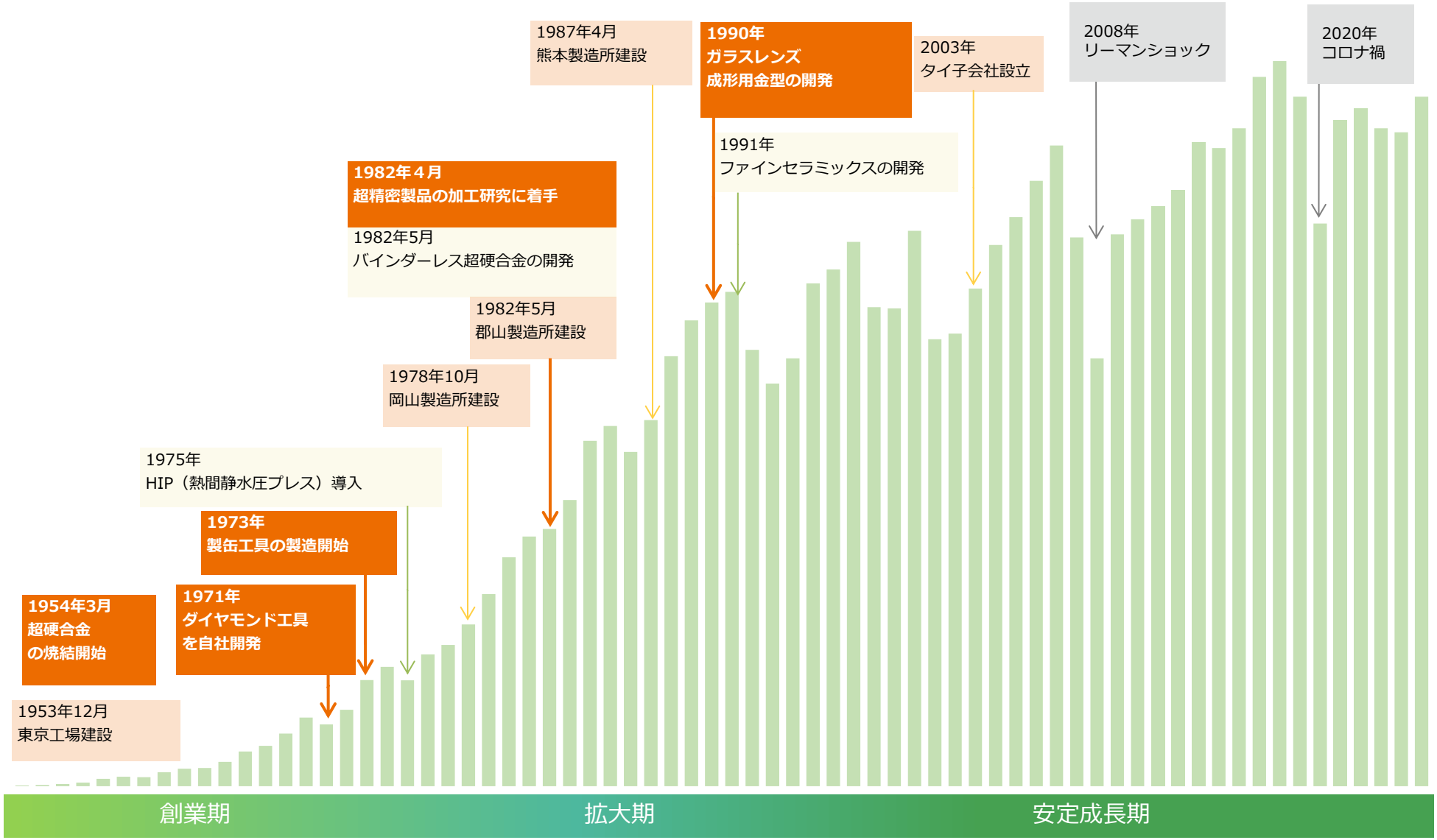


※ 販売構成比の大小でプロット

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な沿革と売上高推移

創業以来、黒字経営を継続



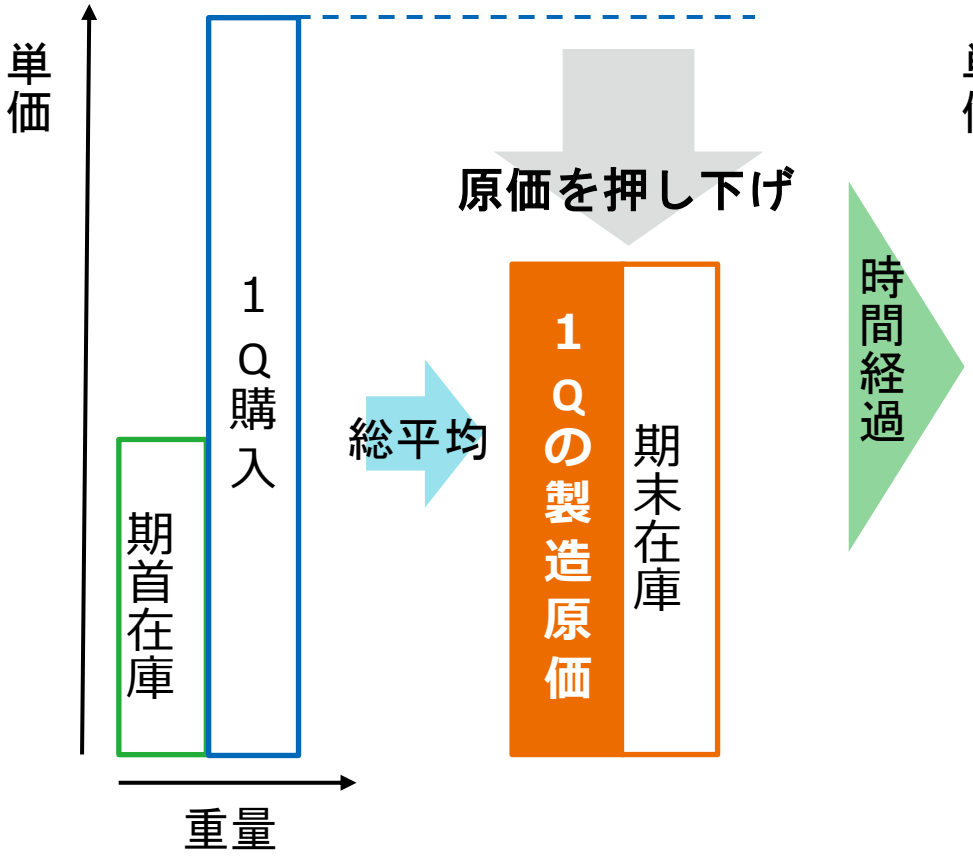
（注）2012年度以降は連結売上高

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

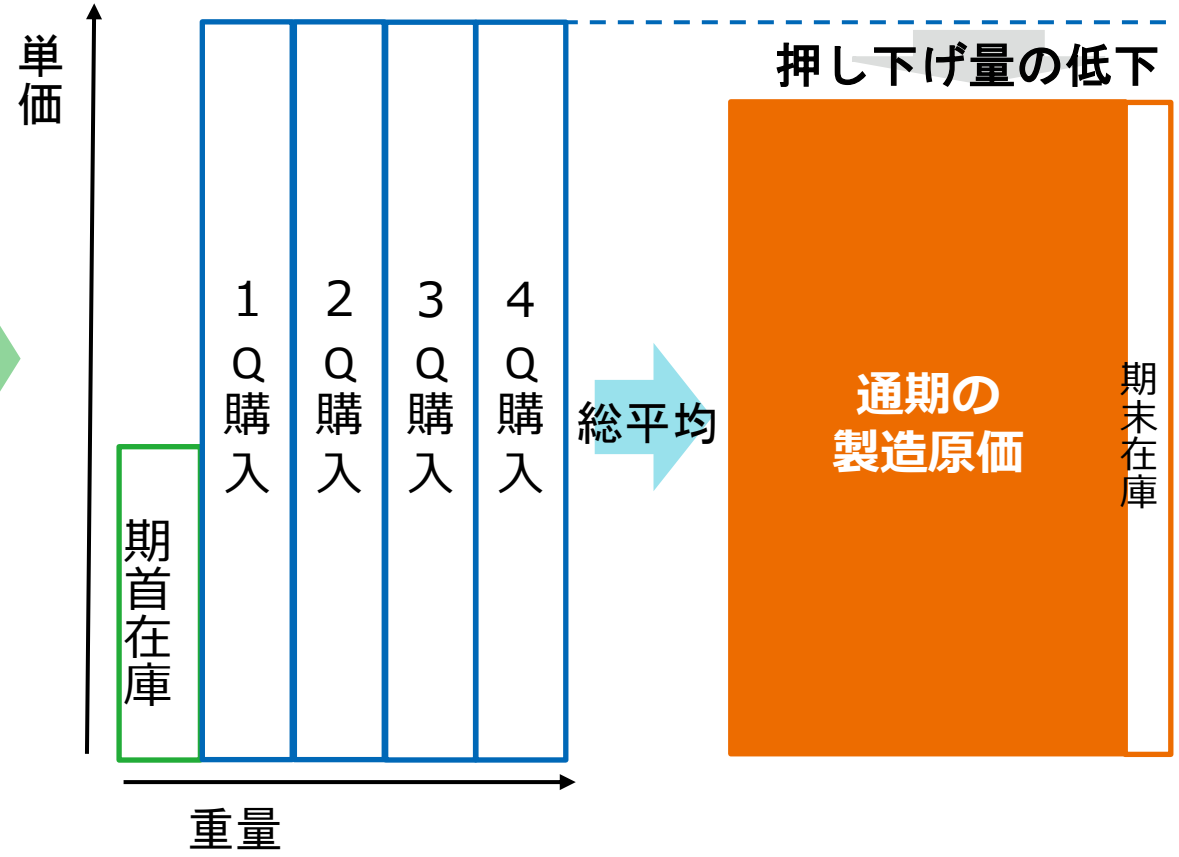
原材料高騰の影響が段階的に製造原価へ反映されるイメージ図

総平均法：保有する原材料の取得価格を平均化して原価を算出する方法
１Q時点では期首在庫の割合が多いため、総平均で製造原価を押し下げるが、
通期では期首在庫の割合が少なくなるため、製造原価の押し下げ量が低下する

【１Q時点の総平均法による製造原価】



【通期の総平均法による製造原価】

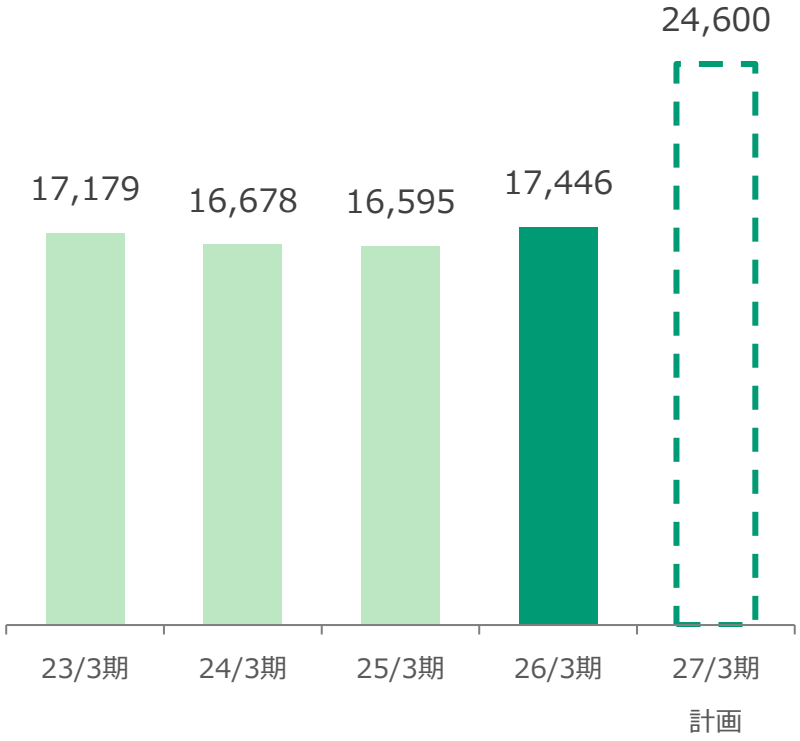


© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　1/3

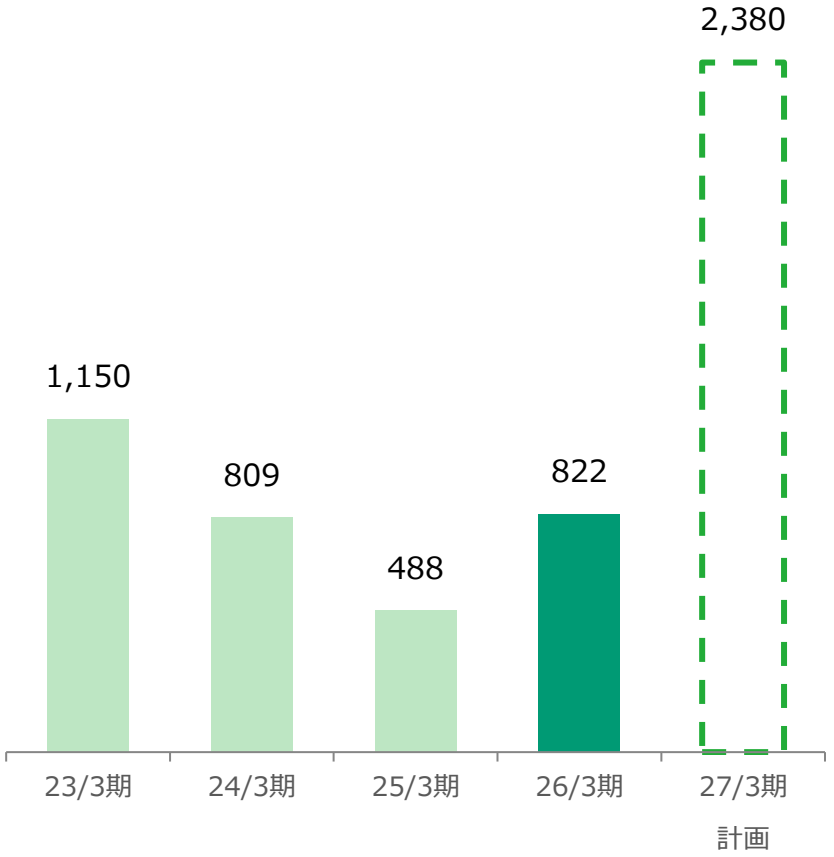
売上高

（百万円）



営業利益

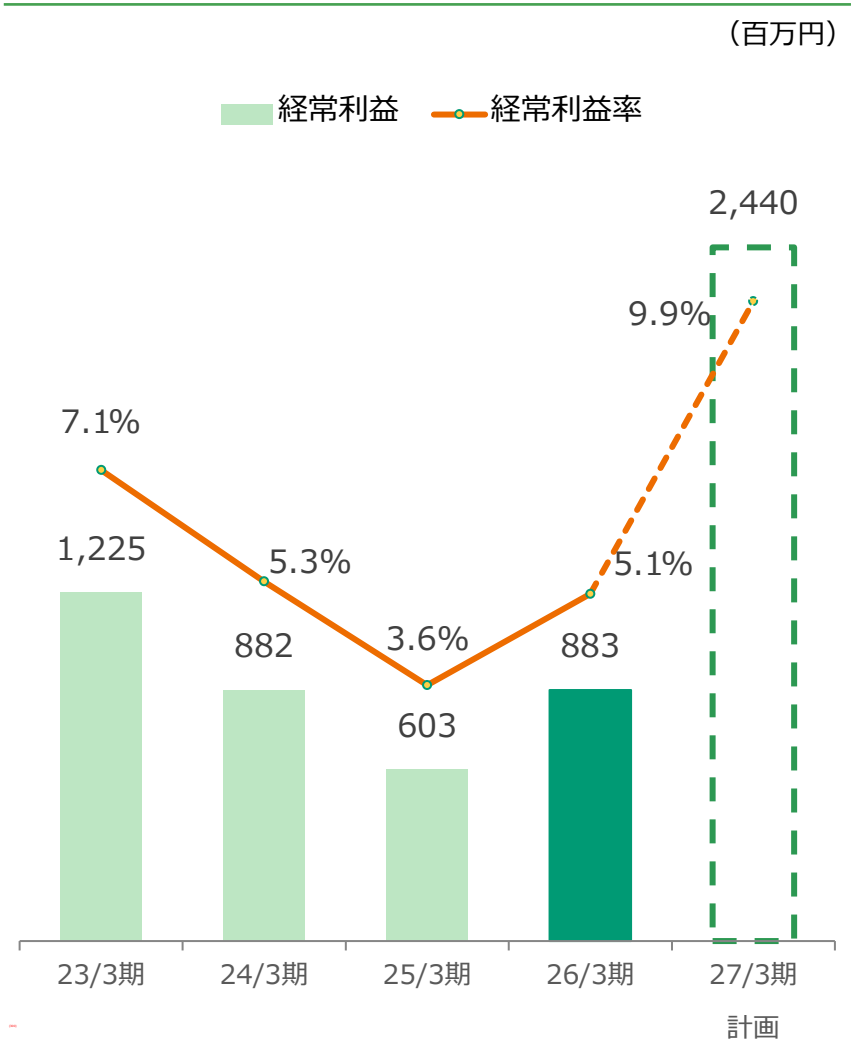
（百万円）



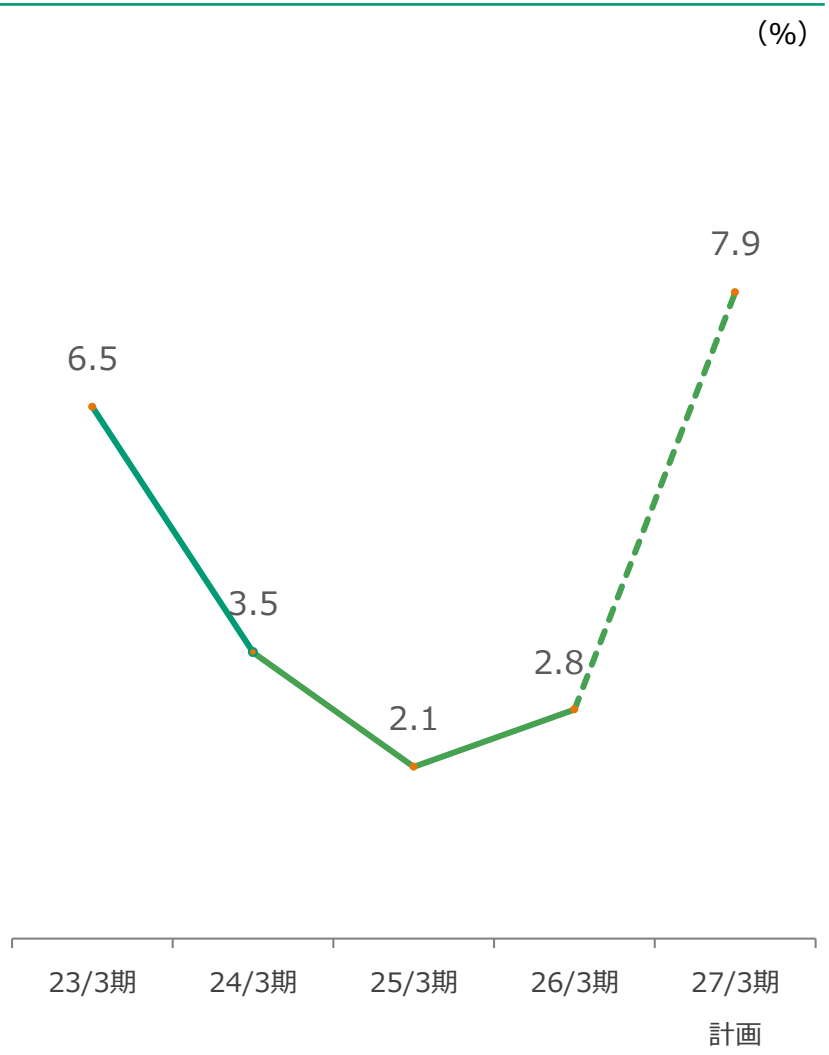
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　2/3

経常利益



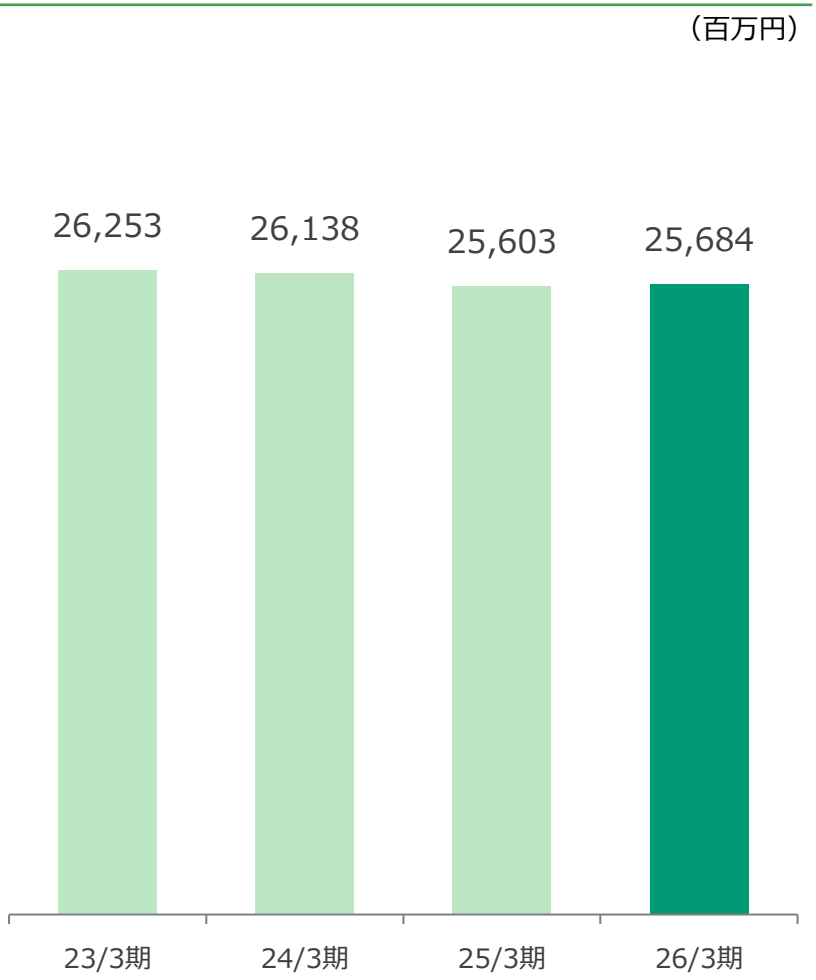
ROE



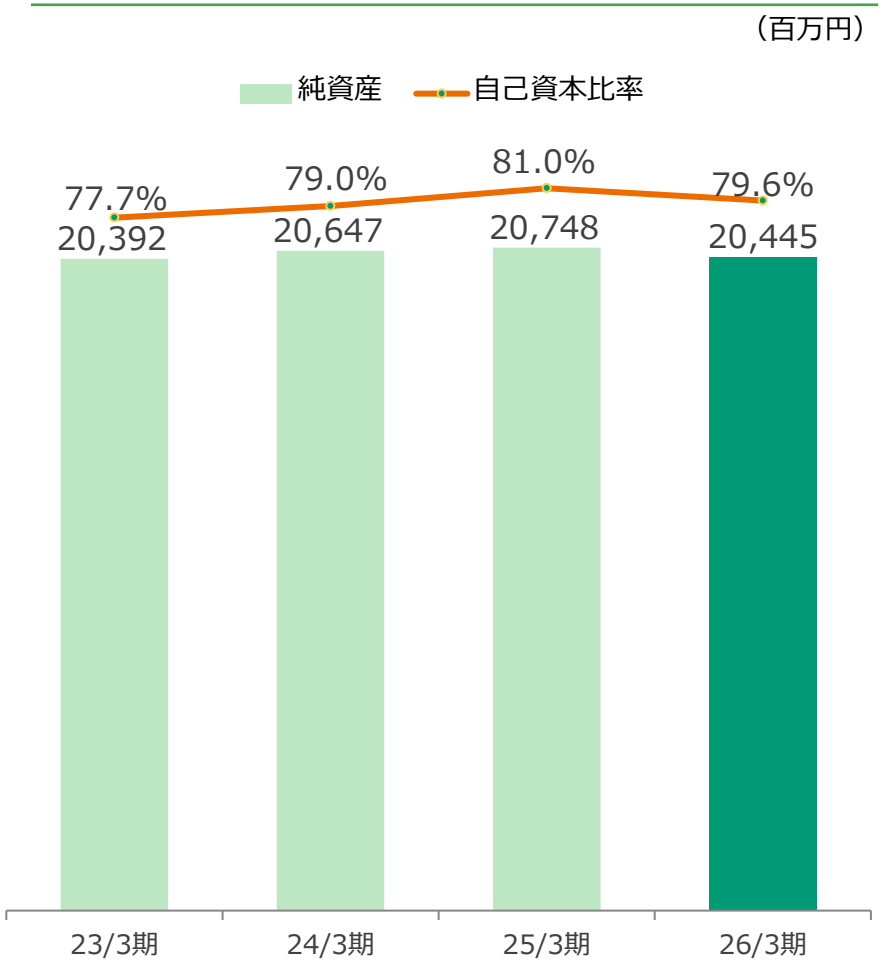
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　3/3

総資産

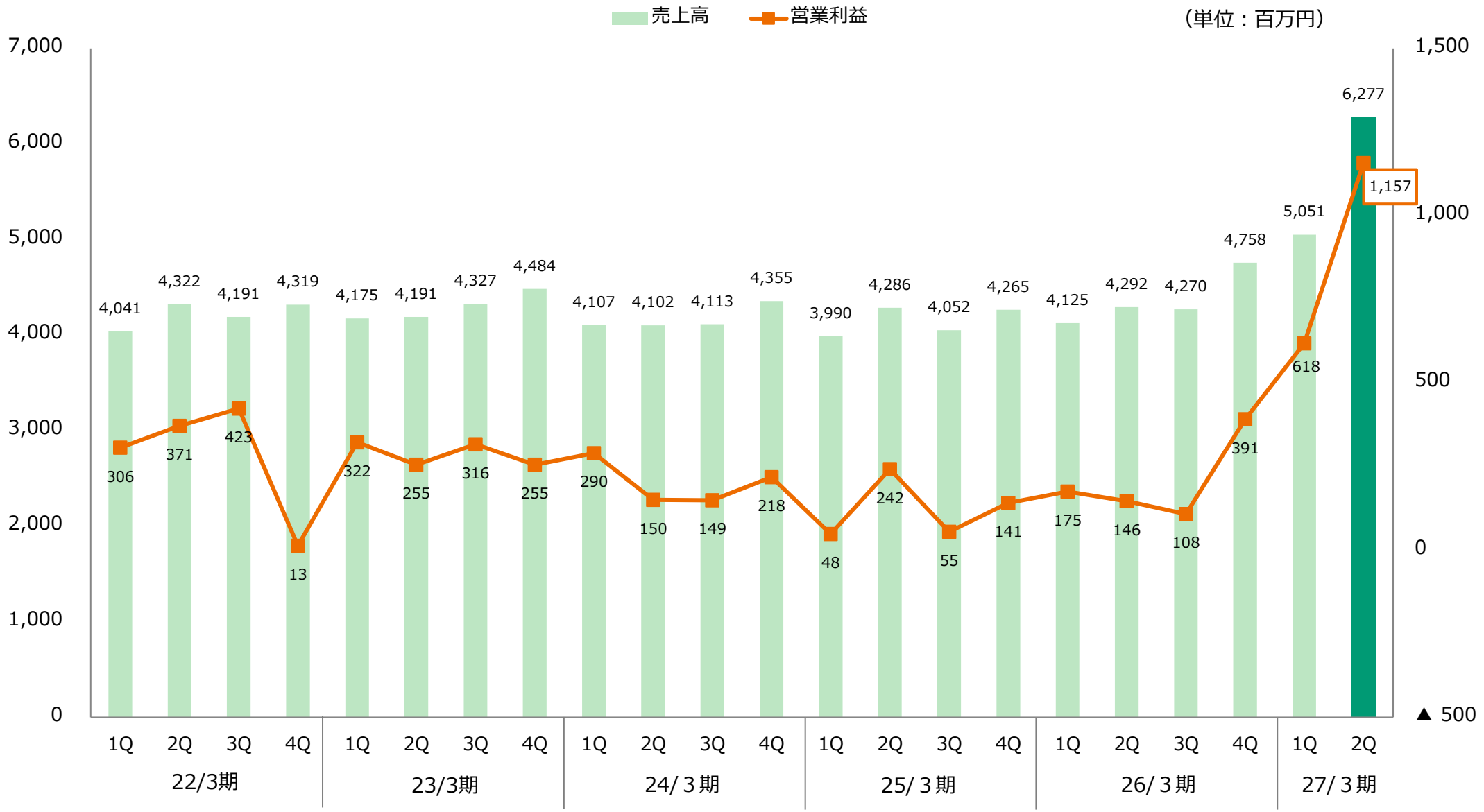


純資産



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結四半期業績推移



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

　また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。 今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。 投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

　尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.